

創立60周年記念誌

だれもが、その人らしく、
住み慣れた地域で、共に、
いきいきと暮らせるまち 柏



創立 60 周年を 迎えるにあたって



社会福祉法人
柏市社会福祉協議会
会長

中谷茂章

柏市社会福祉協議会は、今日まで多くの市民の皆様をはじめ、福祉団体や関係機関に支えられ創立 60 周年を迎えることができました。これもひとえに、社協活動に対する深いご理解と長年にわたって財政支援を賜っております柏市並びに、社協会員としてご協力をいただいている個人、団体、企業の皆様、そして町会、自治会等及び各福祉団体からのご支援・ご協力の賜物と心から感謝とお礼を申し上げます。また、これまで本会の運営について多大なるご尽力をいただきました歴代の会長、副会長、理事、監事、評議員、各委員の皆様に対しましても心から感謝申し上げます。

本会は、昭和 31 年 7 月に創立総会が開催され、任意団体として発足しました。その後、昭和 47 年 2 月に事業規模の拡大等により社会福祉法人格を取得し、本会の運営体制及び組織の充実化を図り、乳幼児から高齢者まで全ての住民を対象にした事業を推進してまいりました。平成 17 年 3 月の柏市と沼南町の合併を経て、柏市地域健康福祉活動計画を策定し、以来 10 年余りにわたり柏市における地域福祉活動の推進と身近な生活課題の解決に向け、“つながり”と“支えあい”のあるまちづくりに取り組んでまいりました。

こうした中、平成 23 年 3 月の東日本大震災をはじめ、近年では熊本県や鳥取県での大地震や、茨城県、岩手県、北海道などでの台風等による風水害など、全国各地で自然災害が発生しております。本会としても、様々なニーズに合わせた復興支援はもとより、柏市をはじめとする関係機関と連携しながら、大規模災害発生時の対応の強化を進めてまいります。

このような取り組みの基礎となるものは、やはり“地域での支えあい”であると考えます。地域の皆様にご協力をいただいている地区社協活動等のこれまでの取り組みを一層推進しながら、東京大学等と共同で、先駆的な事例を取り入れた新しい福祉のまちづくりの研究を進めてまいります。柏市に必要な“地域での支えあい”の仕組みを、地域の皆様と一緒に考え、作り上げていくことが、社会福祉協議会の大きな目的の一つです。その実現に向けて、役員一同、全力で取り組んでまいります。

創立 60 周年は一つの節目であり、歴史の中では通過点にしかすぎませんが、ご一緒にお祝いいただければ、これに過ぎる喜びはありません。

今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

Contents

創立60周年記念誌

●目次

- 01 創立60周年を迎えるにあたって
社会福祉法人柏市社会福祉協議会会長 中谷茂章

① 祝辞

- 05 柏市長 秋山浩保
06 柏市議会議長 山内弘一
07 柏市教育委員会教育長 河嶋 貞
08 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会会長 白戸章雄
09 社会福祉法人柏市社会福祉協議会前会長 為成 勝五郎

② 歴代会長・役員一覧

- 13 1 歴代会長
14 2 歴代役員

③ 柏市の概要

- 25 1 沿革
26 2 位置と地形
26 3 人口

④ 柏市社会福祉協議会のあゆみ

- 29 1 年表
57 2 写真で綴る柏市社会福祉協議会の活動
62 3 広報紙

⑤ 資料

- 73 1 定款
80 2 組織図
81 3 事業内容
88 4 10年の予算・決算の変遷（H18～H27年度）
89 5 10年の事業実績の変遷（H18～H27年度）

■表紙の写真

柏まつり あけぼの山農業公園



●人物の写真はイメージです。

1

祝 辞



柏市長

秋山浩保



祝辞

柏市社会福祉協議会の創立 60 周年を心からお祝い申し上げます。

昭和 31 年の発足以来、今日に至るまで、地域福祉の充実及び向上に寄与され、多様な福祉需要に御尽力いただいていた歴代会長を初め役員、会員の皆様に対しまして、あらためて深く敬意と感謝の意を捧げる次第です。

さて、本市では平成 26 年 4 月に、健康福祉分野の総合計画となる「第 3 期柏市地域健康福祉計画」を策定し、目指す地域健康福祉像を「だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏」と決めました。

また、柏市社会福祉協議会におかれましても本市が目指す地域健康福祉像を共有し、同じ理念に基づき、「第 3 期柏市地域健康福祉活動計画」を策定され、本市の地域健康福祉活動の中心的役割を担っていただきました。

両計画は、車の両輪のように欠くことができない関係にあり、地域健康福祉活動に関する多くの課題の解決に向けて連携して取り組んできたところです。

社会福祉を取り巻く環境は、核家族化の進行、価値観の多様化、少子高齢化による人口減少及び地域コミュニティの希薄化等、大きく変化してきています。

こうした社会環境の諸変化に的確に対応し、目指すべき将来の都市像である「未来へつづく先進住環境都市・柏～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～」を実現するために、本市では平成 28 年 4 月に「柏市第五次総合計画」を策定しました。

市といたしましては、新たな総合計画に基づき、目指す将来像の実現に向け、計画の重点目標にもなっております「健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち 柏」を目指し、地域健康福祉の推進に全力を挙げて取り組んでいく所存であります。

柏市社会福祉協議会におかれてましては、今後とも地域健康福祉活動の推進と牽引役としての活躍を期待するとともに変わらぬ御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、創立 60 周年を契機として、柏市社会福祉協議会が、ますます発展されますことを祈念してお祝いの言葉といたします。

柏市議会議長

山内弘一



創立60周年を祝して

社会福祉法人柏市社会福祉協議会が創立 60 周年を迎えられ、柏市議会を代表し心よりお祝い申し上げます。

柏市社会福祉協議会は、地域福祉のニーズに対応した活動を展開するための組織として昭和 31 年に発足し、昭和 47 年には社会福祉法人となり、今日まで柏市の社会福祉の発展とともに歩んでこられました。

この間、60 年もの長きにわたり、様々な事業を展開し、柏市における地域福祉活動を推進されたことは、これまでの歴代の会長をはじめ、役員・会員の皆様のご尽力の賜物と深く敬意を表するとともに感謝を申し上げる次第でございます。

近年、少子高齢化、人口減少、核家族化の進行など、社会構造の変化にともない、働き方や家庭の機能が変容し、人びとの生き方、暮らし方は多様化が進み、社会福祉に関する要望の増大や課題の深刻化は、私たちの地域社会にも様々な影響を及ぼしています。

このような社会的背景により、社会福祉法により地域福祉の推進を図る中核として位置づけられている柏市社会福祉協議会の役割は、ますます重要なものとなっております。

柏市社会福祉協議会の皆様が策定された「第 3 期柏市地域健康福祉活動計画」では、「だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏」を理念として、目指す方向性を行政と共有されるとともに、「地域実践プロジェクト」など、地域全体で協力しながら様々な課題を解決するための具体的対策計画を綿密に練り上げられ、実践していただいているとお聞きしております。

今後、柏市における地域福祉活動をさらに推進できるよう柏市議会といたしましても、より一層、議論を深めてまいりたいと存じます。

最後に、記念誌発刊にあたられました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、社会福祉法人柏市社会福祉協議会の一層のご発展をご祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

柏市教育委員会
教育長

河 篤 貞



創立60周年を祝して

柏市社会福祉協議会が創立60周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

現在に至るまでの御活躍は、会員をはじめ、関係者の皆様の御尽力によるものであり、ここに改めて感謝の意を表します。

さて、本市教育委員会では、今年度より「柏市教育振興計画 後期基本計画」を策定し、「みんなでつくる魅力ある学校」を基本方針に掲げ、子どもたちの学ぶ意欲と学ぶ習慣を育み、学び続ける力につなげる教育を推進しております。

社会がますます複雑多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中で、学校だけでは解決できない様々な教育課題に対応するため、学校と地域と家庭が一体となり取り組んでいかねばなりません。

こうした中で、貴協議会の御活動におかれまして、地域のふれあい活動を始め、学校の福祉教育講師派遣、「福祉の心」作品展、夏季ボランティア体験など、日頃より子どもたちに寄り添い、心の成長を支えていただいておりますことは、私どもにとりましても、日々大変心強く、ありがたく感じておるところでございます。

今後とも、子どもたちが人と人とのかかわりを大切にし、生き生きと健やかに過ごせるよう、引き続き、学校と地域・家庭の架け橋となり御支援いただけますことをお願い申し上げます。

結びに、この創立60周年を契機として、柏市社会福祉協議会がこれまで築いてこられた伝統を礎に、今後ますます大きく飛躍されることを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

社会福祉法人
千葉県社会福祉協議会
会長

白戸章雄



創立60周年に寄せて

社会福祉法人柏市社会福祉協議会が記念すべき60周年を迎えられましたこと、心からお祝いを申し上げます。

貴会におかれましては、昭和31年7月30日の発足以来、地域ぐるみ福祉ネットワーク事業をはじめ、住民参加型在宅福祉サービス「さわやかサービス事業」、「福祉サービス利用援助事業」、「ふれあいのまちづくり事業」、「生活支援体制整備事業」など、地域住民や関係機関・団体等と協働しながら先駆的・開拓的に各種事業を実施し、常に時代に即した新しい事業へ積極的に取り組む姿勢は、県内においても高く評価されるところで。

さて、平成18年から今日まで、急速な少子高齢化等による人口減少が進む中で、核家族化や単身世帯の増加、雇用形態の変化などの要因から家族や社会において人と人とのつながりが希薄化し、これまでの制度・施策では解決に至らない深刻な福祉・生活課題が明らかになってきました。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの人や地域に甚大な被害をもたらすとともに、人と人の繋がり、「絆」の大切さ、地域における支え合いの仕組みを強固にしていくことの重要性を再認識することとなりました。

こうした中、柏市社会福祉協議会では、「だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏」を地域健康福祉像に6つの地域実践プロジェクトを掲げ、地域住民に寄り添いながら、地域社会で支援を求めている人に住民が気づき、住民相互による支援活動を通じて、地域住民のつながりを再構築し、支え合う地域社会の実現に向けた事業を展開されております。これもひとえに役職員並びに関係する皆様方の御努力によるものであり、あらためて感謝の意を表する次第であります。

結びに、貴会がこの60周年を更なる飛躍への契機として地域福祉向上への熱意を一層高められ、今後ますます発展されるよう祈念申し上げますお祝いの言葉といたします。

社会福祉法人
柏市社会福祉協議会
前会長

為成 勝五郎



創立60周年を祝して

柏市社会福祉協議会が創立60周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。心からお喜び申し上げます。

柏市社会福祉協議会がこれまで幾多の社会福祉制度改革の波を乗り越え、地域の皆様とともに福祉のまちづくりのため、たゆみない努力による活躍を続けてこられましたことは、関係各位のご協力によるものであり、ここに改めて敬意と感謝を表すさせていただきます。

平成17年、沼南町社会福祉協議会との合併後、新社協の運営に関しましては、国の法制度の改正もある中で、いかに社協の組織を最大限に活用しながら、地域福祉の充実・発展・強化に力を注がなければならないかが大きなテーマとなっておりました。そのころ4期8年ではございますが、会長の職に携わることができましたことは、私にとって今までにない緊張感を有しての意義のある経験でした。

市社協が第2期「柏市地域健康福祉活動計画」策定の旗じるしのもと、「地域密着型社協」、「地域活動拠点強化モデル事業」、「市民後見・災害ボランティア」といった取り組みが行われ、さらに、地域福祉活動の活性化が進み、現行の第3期計画につながったものと考えております。何と云っても行政や関係機関、団体、市民等とのネットワークの構築が定着し醸成しつつあるのも、これまで社協が中心となって、地域で活躍されている皆様とともに、地域福祉の推進に努力してきた成果ではないでしょうか。

地域においては、多くの福祉課題が山積している中で、現在の社協は今までの活動にとらわれず、将来を見据え時代に合った新たな事業を積極的に取り入れ展開されておりますことは、この上ない喜びを感じ期待するところでございます。

この60周年を契機として、市社協の幅広いネットワークと住民参加の強みを最大限に活かし、地域における健康福祉の推進役として、今後更なる発展と皆様方のご健勝ご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。